

## 森林環境譲与税の使途について

令和元年度から交付されている森林環境譲与税は、森林の整備に関する施策、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用の促進その他の森林の整備の促進に関する施策に充当することとなっております。

令和7年度、市では、交付額が1, 699万2千円となり、下記のとおり活用いたしました。

(単位 千円)

| 事業名         | 事業総額   | 森林環境譲与税の使途         |         |        |
|-------------|--------|--------------------|---------|--------|
|             |        | うち当該年度の<br>森林環境譲与税 | うち基金取崩額 | うち他の財源 |
| 保育所運営管理事務事業 | 9,864  | 0                  | 9,864   | 0      |
| 児童館運営事業     | 2,640  | 0                  | 2,640   | 0      |
| 公共施設整備基金積立  | 16,992 | 16,992             | 0       | 0      |
| 合 計         | 29,496 | 16,992             | 12,504  | 0      |

➤ 公共施設の木質化を推進するため、公立保育所に木製備品や玩具を設置する。

### □ 事業内容

#### 保育所運営管理事務事業

- ・ 公立保育所（４園）に木製備品や玩具を設置。
- 【事業費】 10,057千円（うち譲与税10,057千円）  
【実績】 9,864千円（うち譲与税9,864千円）

### □ 取組の背景

木製の玩具等を設置することにより、園児が木材に触れ合う機会を創出する。老朽化した備品の更新のため、財源確保の一環として森林環境譲与税を活用することとした。

### □ 工夫・留意した点

園児が木材に触れる機会の多い本棚や玩具等を選定した。



### □ 取組の効果

日々木製備品に触れることができる、温かみのある空間を市負担を抑えつつ創出することができた。



### ◇ 基礎データ

|                    |                   |                |
|--------------------|-------------------|----------------|
| ①令和７年度譲与額：16,992千円 | ②私有林人工林面積（※１）：０ha |                |
| ③林野率（※１）：０％        | ④人口（※２）：142,145人  | ⑤林業就業者数（※２）：１人 |

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より

➤ 公共施設の木質化を推進するため、児童館に木製遊具を設置する。

## □ 事業内容

### 児童館運営事業

- ・ 児童館（１か所）に木製遊具を設置。

【事業費】 5,260千円（うち譲与税5,260千円）

【実績】 2,640千円（うち譲与税2,640千円）

## □ 取組の背景

多くのこどもが利用する児童センターの遊具を木製遊具に更新することで日常の中で木に触れる機会を創出する。財源確保の一環として森林環境譲与税を活用することとした。

## □ 工夫・留意した点

こども達が遊びながら木材に触れ合える機会を創出した。

## □ 取組の効果

市負担を抑えつつ、こども達が安心して利用できる遊具を設置することができた。

## ◇ 基礎データ

|                    |                  |                    |  |
|--------------------|------------------|--------------------|--|
| ①令和7年度譲与額：16,992千円 |                  | ②私有林人工林面積（※1）：0 ha |  |
| ③林野率（※1）：0 %       | ④人口（※2）：142,145人 | ⑤林業就業者数（※2）：1人     |  |

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より



南児童センター木製遊具